

日中韓大学生交流
(2016年8月7日～8月11日：韓国ソウル)

1. 背景

近年教育によるグローバル・シチズンシップの強化が国連や OECD を通じて提言され、国際連合が持続可能な開発のための 2030 アジェンダとして示した具体的行動指針である持続可能な開発目標 (SDGs) においても、平和と非暴力、持続可能な発展や文化多様性を受け入れる文化のための教育を実施することの重要性が指摘されている。また、日中韓サミットの成果文書でも 3 か国間の青少年、学生・生徒による交流推進が明記されており、これらを実現するための事業として実施する。

2. 目的

- ・世界で起こっている問題を解決することができるよう国際感覚を身に着ける。
- ・地域問題、グローバル問題を解決するためのリーダーシップを育成する。
- ・日中韓の学生のネットワーク構築・強化に寄与し、持続的な関係を構築する。

3. 活動内容

- ・講義、ワークショップ、フィールドワーク、話し合いを通じたリーダーシップ能力の強化
- ・個人発表、グループ発表を通じたコミュニケーション能力の促進
- ・地球市民教育 (GCED) によるディスカッションを通じた能力開発、日中韓の相互理解を促すワークショップ
- ・日中間の関連政策に関する若者同士の活動、意見等の交換

4. 日程概要

日付	日程	訪問先	内容
8月7日(日)	1日目	東京/ソウル	ソウル到着、韓国現地オリエンテーション、歓迎会
8月8日(月)	2日目	ソウル、ユネスコアジア太平洋国際理解教育センター (APCEIU)	開会式、TBC による基調講演、国際性についてのグループディスカッション・プレゼンテーション、まとめと講評、交流会
8月9日(火)	3日目	仁川 (インチョン)、新村 (シンチョン)	Incheon Open Port の紹介、見学、東アジアの未来について考察、グループプレゼンテーション、料理体験

8月10日(水)	4日目	ソウル、ユネスコアジア太平洋国際理解教育センター (APCEIU)	これまでのおさらいと今後の活用について、若者主導の取組みに関する講演、アクションプランの作成、グループ発表、討論
8月11日(木)	5日目	ソウル	ソウル観光、振プログラムの振り返り・評価

5. 参加者

各国20名の大学生及び関係機関等の随員併せて80名程度。

6. 参加資格

- (1) 日本国籍であること
- (2) 学部生であること。ただし、交換留学生として中国、韓国に滞在している者を含む。
- (3) ディスカッションできるレベルの英語力を有すること。
- (4) 東アジアの国際関係、歴史、文化などに興味、関心があること。

7. 募集・選考

- (1) 書類提出締切：2016年6月6日(月)
- (2) 選考結果発表：2016年6月13日(月)

8. 出願書類

- (1) 参加申請書(所定フォーム)
- (2) 履歴書(所定フォーム)

9. 評価と報告

参加者は帰国後、所定の報告様式により文部科学省に報告書を提出する。

10. 旅費等諸経費

- (1) 以下の旅費を支給する。
 - ・日本と韓国の往復航空運賃
 - ・韓国内の移動に係る経費、宿泊、食事
- (2) 各参加者は、下記について負担する。
 - ・海外旅行損害保険：各参加者は、プログラム期間中の万一の事故に備え、出発前に必ず各自の責任において、海外旅行損害保険に加入しておくこと。
- (3) 旅券について
 - ・パスポートの有効期限がプログラム終了日から3か月以上あり、かつ見開き2ページ以上の余白のあるパスポートを有すること。